

科 目 名	医療コミュニケーション学 [科目番号：41718120]		
タ ー ム	S1	単 位 数	2単位
曜日・授業時間帯	火曜3、4時限		
場 所	医学部教育研究棟13階 公共健康医学専攻（SPH）講義室		
担 当 教 員	石川ひろの 他		
授 業 の 目 的	<p>本講義の目的は、医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）の理論と実践を体系的に学習することにある。</p> <p>医療コミュニケーション学（ヘルスコミュニケーション学）とは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーション学であり、保健医療専門職間、保健医療専門職と患者・市民間、患者・市民間等における健康や医療に関連した知識や情報などのコミュニケーションを対象とする。本講義では、保健医療・公衆衛生分野における専門職として効果的なコミュニケーションを実践するために必要な、(1)コミュニケーションの基本的な理論、(2)コミュニケーションの具体的な方略やスキル、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱う。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。</p>		
授 業 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各回1テーマの講義を行う。 ・ テーマに基づいた追加資料の配布やグループワークを行うことがある。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	4月11日3限	医療コミュニケーション学概論	石川ひろの
	4月11日4限	保健医療専門職の教育 コミュニケーションスキルの教育と評価	石川ひろの
	4月18日3限	ヘルス・コミュニケーションの方略① 個人の行動変容を促すコミュニケーション	石川雄一 (日本ヘルスサイエンスセンター)
	4月18日4限	患者・市民の教育 賢い患者・市民を育てる試み	山口育子 (COML)
	4月25日3限	グループ・組織のコミュニケーション グループダイナミクスとリーダーシップ	石川ひろの
	4月25日4限	ヘルス・コミュニケーションの方略② 行動変容を促す保健医療文書の作り方	奥原剛
	5月9日3限	ヘルス・コミュニケーションの方略③ 集団の行動変容を促すコミュニケーション	石川善樹 (キャンサースキャン)
	5月9日4限	政策形成とアドボカシーのコミュニケーション アドボカシーの概念と人材育成	神馬征峰 (国際地域保健学)
	5月16日3限	メディア・コミュニケーション①： テレビ	市川衛 (NHK)
	5月16日4限	ヘルス・コミュニケーションの方略④ エンターテイメント・エデュケーション	加藤美生
	5月23日3限	メディア・コミュニケーション②： 新聞	本田麻由美 (読売新聞)
	5月23日4限	ヘルス・コミュニケーションの研究 コミュニケーションの分析と実証研究	石川ひろの
	5月30日3限	メディア・コミュニケーション③： インターネット	中山和弘 (聖路加国際大学)
	5月30日4限	まとめ： グループ討論と総合討論	石川ひろの、 加藤美生、奥原剛
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・ Athena du Pre. Communicating About Health: Current Issues and Perspectives. 4th ed. Oxford University Press. 2013 ・ Peter G. Northouse & Laurel L. Northouse 著. 萩原明人 訳. ヘルス・コミュニケーション 改訂版. 九州大学出版会. 2010 ・ Debra L. Roter & Judith A. Hall 著. 石川ひろの、武田裕子 訳. 患者と医師のコミュニケーション—より良い関係作りの科学的根拠. 篠原出版新社. 2007 ・ 藤崎和彦、橋本英樹 著. 医療コミュニケーション研究会 編. 医療コミュニケーション—実証研究への多面的アプローチ. 篠原出版新社. 2010 		
成績評価の方法	講義への出席 (30%)、レポート (70%) による。		
他の授業との関連	医療コミュニケーション学演習の前に受講することが望ましい。健康社会学、健康教育学、科学技術コミュニケーション、医学研究とCDISC標準、等と関連する。		